

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・自分たちが楽しむだけでなく、コースを使う他の友だちも動きを想像しながら、多角的に巧技台を組んでみようとする。
- ・自分たちで条件やルールを設け、達成感を共有しながら遊んでいく。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
これまでの活動で学んできたことを生かし、一から環境づくりを行う。

## 2. 活動スケジュール

挨拶後、自由遊び、動機づけ遊び、課題遊びの順で行う。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)  
巧技台、はしご、滑り台、丸形はしご、マット、ビーム、コーン、ボール、バット、風船、円柱マット、めんこ

#### 4. 探究活動の実践

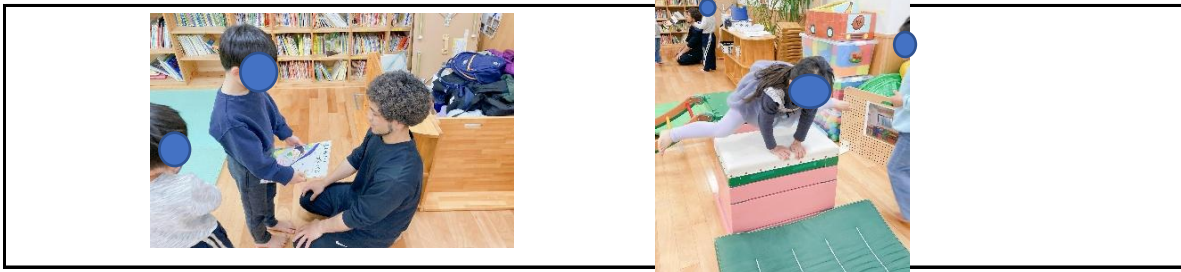
##### <活動の内容>

事前のねらいとしては、子どもたちに環境設定を行ってもらった予定だったが、子どもたちが行いたいことが多かった為、講師と一緒に考えながら設定を行った。その後、プレイゾーンとチャレンジゾーンで自分の興味のある遊びを行っていた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動前には絵本の中から講師に指定されたひらがなを見つけた後、それぞれが行いたい遊びを伝えてから遊び、その際に自分の動きを言葉で表現することが出来ていた。色々な遊びがあったが、友だちと一つの遊びに色々なルールを加えながら遊ぶ子どももいれば、色々なものに興味を持ち、遊び場を転々とする子どももいたが、全員が遊びに没頭しながら楽しんでいる姿が見られた。初めは跳べなかった跳び箱をこれまでの経験を生かし、何度もチャレンジし、最後は成功すると達成感を味わう姿があり、自信をつけている様子であった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

大人の言葉で子どもを動かすのではなく、環境でそうなるように仕向け、コーチングすることで子どもの可能性を引き出すことができ、何度もチャレンジすることができるようになることを学んだとともに、子どもが成功した際に「すごいね！」と出来たことを褒めるのではなく、「できたね。」とあえて褒めずに出来たという事実のみを伝えることで主観的有能感を育み、根拠のない自信を持つことで色々なことに挑戦する心を持つことが出来るということを知った。これまでのすくわくの活動を通して、色々なことにチャレンジする姿が多く見られるようになったとともに、危険予測をすることが出来るようになったように感じた。